

製品名: ICAM2 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe87387

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000
分子量	Calculated MW:31 kDa; Observed MW:45,55 kDa

抗原情報

遺伝子名	ICAM2
別名	CD102
遺伝子 ID	3384
SwissProt ID	P13598
免疫原	ヒト ICAM2 の組み換えタンパク質

背景

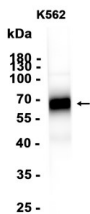
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞間接着分子（ICAM）ファミリーのメンバーです。すべての ICAM タンパク質は

I型膜貫通糖タンパク質であり、2~9個の免疫グロブリン様C2型ドメインを含み、白血球接着タンパク質LFA-1と結合します。このタンパク質は、LFA-1依存性細胞接着を阻害することで、リンパ球再循環において役割を果たすと考えられます。抗原特異的免疫応答、NK細胞を介したクリアランス、リンパ球再循環、そして免疫応答と監視に重要なその他の細胞間相互作用に重要な接着相互作用を媒介します。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



ICAM2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した K562 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。